

竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

師走

十二月に入りますと、一年の終わりを感じ、なんとなく気ぜわしくなっていてまいります。十二月は皆様もよくご存じの通り、旧暦で別名「師走」といわれます。

この時期には、師走にちなんで、テレビ、新聞では「京都の師走の風物詩」、各地の「師走の風物詩」など様々な行事が伝えられます。「清水寺の世相を一字で表す『今年の漢字』」、有名寺社での「大掃除、すす払い」「お正月の絵馬、破魔弓の準備等」など、目にされた方も多いのではないのでしょうか。

「師走」という文字は、江戸時代元禄の頃から使われ始めたようです。一年の終わりを意味する「しはす」と言う旧暦の言葉に、「お坊さん(師)が走る」という意味をあてはめた当て字です。お盆参りは、ご先祖様をお迎えし感謝する為ですが、師走のお参りは、一年の間に私達の心に積もった心のすす払い、新しい気持ちで新年を迎える為のものです。しかし、農耕中心から外で働く時代となった今日、お坊さんはお盆ほどには回っていないようです。

師走のお参りの代わりに、大晦日にお寺に除夜の鐘を撞きにお参りするのも良いのではないのでしょうか。師走のお参りも除夜の鐘も、中身は同じで心のすす払いです。また、撞きに出かけられない場合は、鐘の音に思いをはせていただくといいでしょう。

師走は一年の締めくくりの月です。師走には、忙しい自分の気持ち一旦を立ち止まらせ、ゆく年の出来事を振り返りたいものです。そして、周りの人や物に感謝も忘れず、来る年の良い出会いを願いましょう。皆様にとって新しい年が良い年となりますように。

合掌

徳島脇町 東林寺 古野 英樹



平成 28 年慰問・行事・秋

毎年、11月3日～7日に、地域交流スペースにて作品展を開催しています。利用者様、職員が手作りした作品（俳句、絵、小物等）を展示し、来場者の方に一番好きな作品に投票して頂き、ほのぼのの賞を決定しています。皆さんも参加してみませんか？



ほのぼの作品展



さぬき民俗芸能保存会様



スマイルドッグ様



ステップクラブ様

「交通事故多発全県警報が

発令されました」

香川県ホームページより

年末年始は、人や自動車の動きが慌ただしくなります。交通量が増加し、また飲酒の機会が多くなり、交通死亡事故が多発する時期です。

香川県では、県民総ぐるみで以下の事について取り組んでいます。

- ① 交通安全意識の高揚
- ② 交通ルールの順守
- ③ 正しい交通マナーの実践を習慣づけ

高齢者の交通事故防止

● 高齢者のみなさんは自らの身体機能・運転能力等を理解して、安全確認を徹底しましょう。

● 夕方からの外出時には、「反射材用品」などを着用して自分の存在を周囲に知らせましょう。

● 全ての高齢者に対する思いやりのある運転を実践しましょう。

● 周囲が暗くなり始めたなら早めにライトをつけましょう。

「ひとごとではない」、県民一人一人が「事故に遭わない、起こさない」という気持ちで交通事故を撲滅しましょう。



社会福祉法人竜雲学園 竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム
短期入所サービス
通所介護サービス
認知症型通所サービス
訪問介護サービス
老人介護支援センター
ケアハウス

〒761-8078
高松市仏生山町甲 3100 番地 2
TEL:087-888-5800
FAX:087-889-1004



「おせち」の由来について

管理栄養士 原田歩美子

もうすぐお正月です。今では新年のお祝いに食べられるおせち料理ですが、この習慣は、江戸時代から始まったそうです。



中国から伝わった節句の行事の中に「節会」という宴があります。その時のお料理を「御節供」といい、現在の「おせち」と言われるようになりました。

重箱に詰められている料理や素材は、それぞれに意味を持っています。意味を考えながら食べるのもいいかもしれませんね。